

# いななかたて

光田寺小学校6年 鳴海しづのさん 書

11 ■ 2006 第 609 号

## ユーモアたっぷり

9月30日、畑中保育所で弘前市の人形劇団「つがる」によって、「津軽の昔っこ」のひとつである「穴掘長兵衛あなほりちやうべえ」が上演されました。県総合社会教育センターの教育力育成セミナー受講生グループ「さ・く・ら」が主催したもので津軽弁を交えた、おもしろおかしい人形劇に子どもから大人まで引き込まれている様子でした。

### 今月のおもな内容

平成17年度決算	2
稲刈り体験ツアー	3
キラリ田舎館人	5
デービットさんの 国際交流コーナー	6
津軽広域連合だより	7
お知らせ	8
戸籍の窓	10

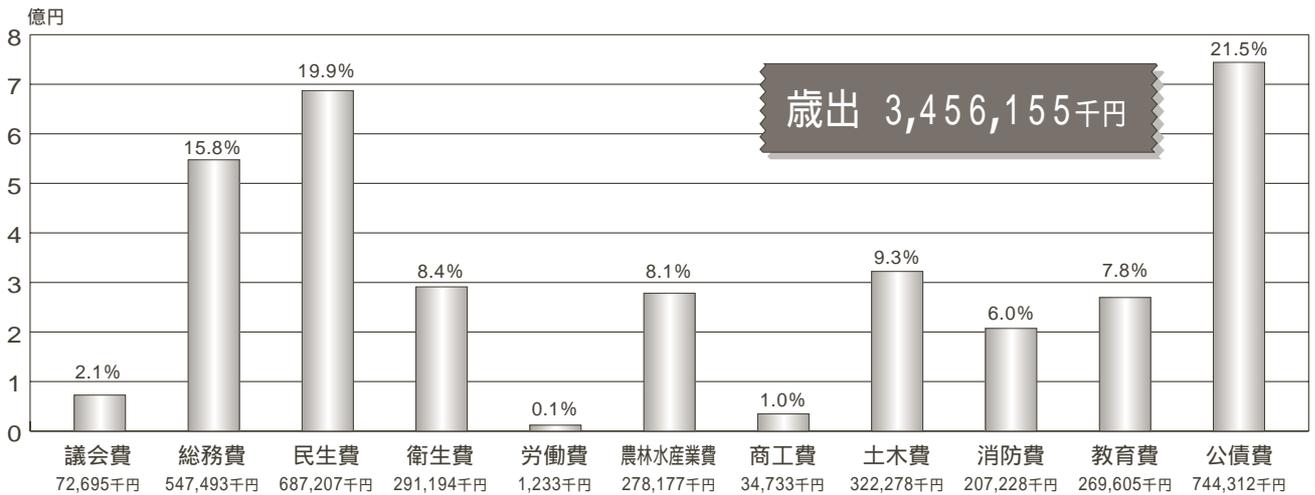
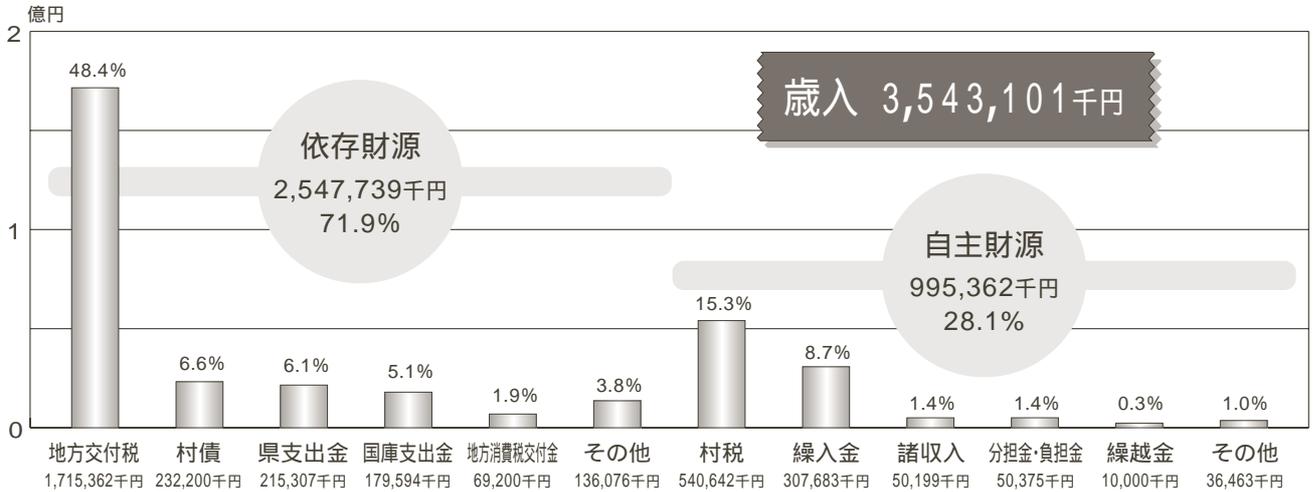


広報の早期配布にご協力をお願いします。

平成  
17年度

# むらの家計簿を 公開します

平成17年度決算が先の定例会で承認されました。国や県などから入ったお金はどのくらいで、どのように使われたのかまとめてみました。(千円以下は省略しています)



## このような仕事に使われます

### 総務費

- 部落行政経費補助金 4,037千円
- FM放送運営委託料 2,000千円
- 生活交通路線維持費補助金 5,101千円
- 納税貯蓄組合補助金 6,386千円

### 民生費

- ほのぼのコミュニティ21推進事業委託料 5,179千円
- 国民健康保険特別会計繰出金 67,268千円
- 重度心身障害者医療費 16,180千円
- 支援費給付費 69,785千円
- 介護保険特別会計繰出金 88,892千円

### 衛生費

- 乳幼児はつらつ育成事業 7,456千円
- 黒石地区清掃施設組合負担金 104,070千円
- 検診等委託料 26,719千円
- 老人保健特別会計繰出金 59,385千円

### 農林水産業費

- あおもり冬の農業施設整備対策事業補助金 10,228千円
- 県営田圃空間整備事業負担金 35,437千円
- 生産振興総合対策事業費補助金 (色彩選別機) 19,900千円
- 総合案内所ライフライン設置工事 10,288千円

### 商工費

- むらおこし推進協議会負担金 1,000千円
- 村商工会補助金 3,850千円

### 土木費

- 道路改良等工事費 16,749千円
- 下水道事業特別会計繰出金 229,428千円
- 除雪対策費 39,927千円

### 消防費

- 黒石地区消防事務組合負担金 185,538千円
- 消防施設費 2,438千円

### 教育費

- 奨学金貸与利子補給補助金 2,068千円
- 垂柳遺跡環境整備事業委託料 1,520千円
- 自転車置場設置工事 6,143千円
- 中央公民館アスベスト除去工事 8,799千円

## 特別・企業会計決算

### 国民健康保険

歳入 984,650千円  
歳出 856,595千円

### 介護保険

歳入 595,366千円  
歳出 585,004千円

### 下水道事業

歳入 441,703千円  
歳出 444,688千円

### 老人保健

歳入 892,415千円  
歳出 892,033千円

### 農業集落排水事業

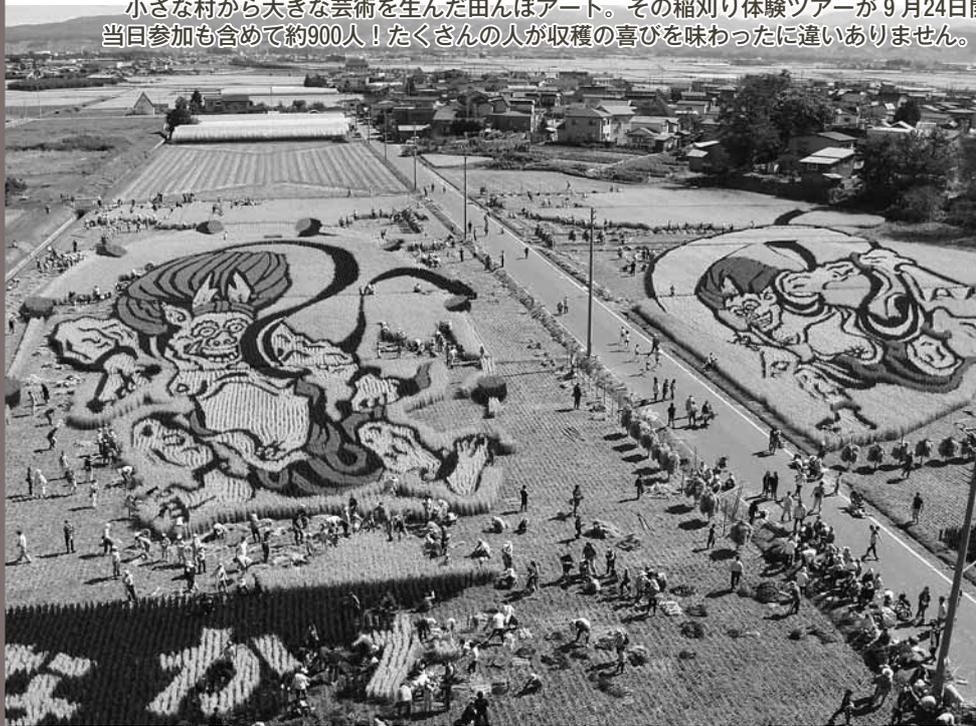
歳入 33,097千円  
歳出 32,353千円

### 水道事業

収益的収入 215,680千円  
収益的支出 218,612千円  
資本的収入 48,527千円  
資本的支出 108,344千円

# 期間中約20万人が来場!!

小さな村から大きな芸術を生んだ田んぼアート。その稲刈り体験ツアーが9月24日開催されました。参加者は当日参加も含めて約900人! たくさんの人が収穫の喜びを味わったに違いありません。



田植え体験ツアーが行われたのは5月28日。約700人の参加者が今年の題材である「風神雷神図屏風」の図柄に挑戦しました。

また今年から新たに「紅染」<sup>べにみやこ</sup>という赤いモチ米を使用。これまでの県産米つがるロマン、古代米とされている黄稲と紫稲の3色から4色に増えました。それによって稲の色合いも異なるため、例年とは一味違う見応えもあり、稲刈り直前まで展望台となっている天守閣はたくさんの人で賑わいました。

9月に入り、台風の接近もありましたが、風神雷神2人の神様の力もあり(?) 直撃を免れました。

今回収穫されたつがるロマンは、11月11・12日に開催される「収穫感謝祭&シクラメン市」で、稲刈り体験ツアーで配布した引換券と交換で差し上げることになっています。

また、8月11日から募金箱を設置し、来場者の方々に善意を呼びかけたところ、約44万円もの寄付がありました。皆様のご協力ありがとうございました。



# 話題いろいろ

## 今回はフィンランド料理



中央公民館で10月9日、国際交流員のデービッドさんが毎月恒例の料理教室を開催しました。今回はデービッドさんの母のヘルミー・ハマーさんも特別講師として参加し、フィンランド料理を作りました。参加者はヘルミーさんと身振り手振りを交えながら料理に挑戦していました。

## ポンプ車を引き渡し



9月24日、中央公民館前で新しい小型動力ポンプ付積載車の引き渡しが行われました。15年度の田舎館消防部以来で、今回は高田消防部と大曲消防部に引き渡されました。地域の安全を守るために団員らは、気持ちを引き締め直した様子でした。

## 赤ちゃんにご対面



10月11日、田舎館中学校3年生を対象に今年で8回目となる、赤ちゃんふれあい教室が行われました。赤ちゃんと一緒に遊んだり、抱っこしたりと赤ちゃんとの仲良くなった様子で、お母さんたちに育児について質問するなど、有意義な時間を過ごしていました。

## 焼き上がりを楽しみに



田舎館小学校で10月5日、土器の野焼きが行われました。7月の土器作り、9月の稲刈りに続く行事。弥生水田再現体験学習の一環として行われています。5・6年生61人が土器をワラや粘土などで作った窯に入れ、焼き上がりを心待ちにしていました。

## 子どもたちの教育のために



光田寺小学校で10月13日、小・中学校合同研究会が行われ、授業参観の後、五所川原農林高校教諭のMr.マサックこと工藤貴正先生が講演を行いました。工藤先生は得意の実験をし、「どんな方法でもいいから問題を突破することが生きる力になる」と述べていました。

## 雨の中で力走！



10月8日、田舎館城下クロスカントリーリレー大会兼全国小学校クロスカントリーリレー研修大会青森県予選が開催され23チームが参加しました。あいにく小雨の中でのレースとなりましたが、選手らは好タイムを目指して力走を見せました。なお、優勝は弘前アスリートクラブでした。

# 田舎館人

## 剣道からは 離れられない



工藤直美さん (35)  
高 樋

田舎館中学校アツセンブリホール。ここでは、月・水・金曜日に少年剣道教室が行われており、小学校1年生から6年生までの子どもたち26人が練習に汗を流しています。ここで子どもたちを指導している一人に工藤直美さんがいます。剣道三段の持ち主です。

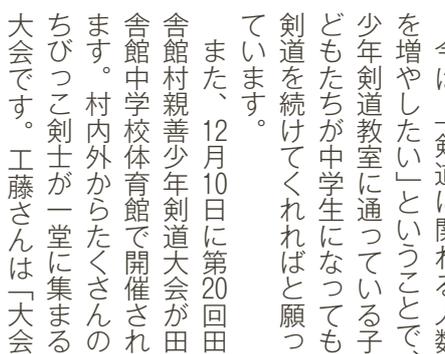
工藤さんが剣道を始めたのは中学校1年生の時。近所の幼なじみの先輩に誘われたのがきっかけでした。「私が中学生の時は、今より剣道人口が多かったけれど、真面目に練習すれば、入賞できました」と振り返る工藤さん。自分で運動が苦手だと思っていた工藤さんは、結果の出る剣道が楽しくて仕方なかったそうです。そして高校でも剣道を続けました。が、社会人になり仕事で時間帯が合わず、練習にずっと行けない日が続きました。しかし、工藤さんは「村

にいるのだから、いつか剣道に戻るんだろうなあ」という気がしていたとのこと。子どもも大きくなり、「練習に顔を出してみようかな」と思い、剣道教室に行ったのが指導者となつたきっかけで、今年で7年目になります。

工藤さんが指導する時、心掛けていることとして、「子どもたちが自分自身の精一杯を出しているか見極めること」があります。道場に来たからには、真摯な態度で練習に臨むことが本当の意味での「礼儀」だと考えているからです。そのほか練習後に神聖な道場をきれいにし感謝するということも忘れないでほしいということから雑巾掛けをさせているそうです。

今は、「剣道に関わる人数を増やしたい」ということで、少年剣道教室に通っている子どもたちが中学生になっても剣道を続けてくれればと願っています。

また、12月10日に第20回田舎館村親善少年剣道大会が田舎館中学校体育館で開催されます。村内外からたくさんの方々が一堂に集まる大会です。工藤さんは「大会



少年剣道教室ではお子さんのほか、成人一般の方(女性含む)で、剣道を始めたいという方を募集しています。いずれも経験者、初心者はいません。月・水・金曜日の午後6時から田舎館中学校アツセンブリホールで練習していますので、まずは見学に来てください。

がレベルアップしてきて、なかなか入賞できなくなっている。目標は一人でも多く入賞すること」と話してくれました。

# Despite Age, Adventure

「年をとっても、冒険」

デービットさんの  
国際交流コーナー

9月の下旬に母がアメリカから田舎館に遊びにきました。3週間ぐらい滞在しました。もちろん、母を迎えて、日本の生活を見ることができ、大変嬉しかったです。大変楽しかったですが、彼女の目で日本を見ることは僕にとっては大変面白かったです。

母は72歳です。長い間、糖尿病を患っていて、その結果、目があまり見えません。そして足は一本しかありません。4年前左足を切断し、今は義足で歩いています。そして耳がかなり遠くなっている感じです。こういう問題が重なっている母にとっては、日本まで来ることがかなりの冒険だったと思います。

足が悪いせいで、母はあまり遠くまで歩けません。皆が車でどこへでも出かけるこの青森では歩けないことは大した問題にはなりませんでしたが、大型店舗に行った時、障害者の駐車スペースの前にロープが張られていたり、カラーコーンが立てられていたりとちょっと不思議に思いました。それは使ってはいけないという意味ですか？店は来店する障害者に車から降りて、ロープをはずして、車に乗り直して、駐車することを期待しているのですか？ちょっと僕には分かりません。

しかし、その反面、その大型店舗に入ったら母が使える車椅子がほとんどの場所に用意してありました。私たちはそれを見つけてよかったと思っていました。この車椅子はずっと前からあったと思いますが、母がいなければ気づくことがありませんでした。同様に、来る途中も帰る途中も、東京駅で車椅子の手伝いを母のために頼みました。大変素晴らしかったです。母が東京駅で降りた時、白い手袋をしている駅員が車椅子を持って待っていました。母がそこに座ると、その人は駅の奥の奥を通して、母の乗り継ぎ列車まで連れて行ってくれました。非常にいいサービスでしたが、あまり使われていないような気がします。

ここで質問があります。つまり「どうして、日本人がこのようなサービスを利用しないのですか」ということです。日本では、車椅子に乗っている人を見かけることが非常に少ないです。アメリカでは博物館を見学するとか、スーパーで買い物している障害者の姿を見ることは珍しいことではありません。田舎館村の人口の26%ぐらいが65歳以上ですが、その中で母のように歩けない人が何人かいると思います。これらの人たちはどこにいますか？出かけることはないのでしょうか？

母は日本に来ていい経験をたくさんして帰りました。確かに、難しいこともありましたが、提供しているサービスを活用して、楽しい旅になりました。母のように田舎館の老人が身体的に問題があっても、毎日少しでも冒険ができるといいと思います。

英文の方も読んでみてください。(内容は上の文と同じです。)

In late September, my mother from America came to visit me here in Inakadate. She stayed for about three weeks. Of course I was very glad to welcome her and show her my life here. We had a great time, but it was also very interesting for me to see Japan through her eyes.

My mother is 72 years old. She has diabetes and as a result can't see well. Also she has only one leg. Her left leg was removed about four years ago and she now uses a prosthetic. Finally she can't hear very well. With all these problems, I am sure coming to Japan was quite an adventure for her.

Because she has a bad leg, my mom can't walk long distances well. Here in Aomori where most people go everywhere by car, this was usually not a problem, but I was often puzzled when I went to a store and found a rope or cone in the handicapped parking spaces. Aren't you supposed to park there? Do stores expect handicapped people get out of the car, move the rope, then get back in the car and park? I don't understand.

On the other hand, once we got into most big stores, there was often a wheelchair available for my mother to use. We were both pleasantly surprised to find them. The chairs have probably always been there, but without my mother I just didn't notice. Similarly, we requested wheelchair assistance for my mother in Tokyo station for both her arrival and return. It was amazing. A man with white gloves and a wheelchair met my mother at the door of her train and after she sat down, he took her through the bowels of the station to her connecting train. A very great service, but not very well used I think.

And that is my question. 'Why don't Japanese people use these services?' I very rarely see Japanese people in wheelchairs. In America, it is normal to see such people shopping in supermarkets or visiting museums. Right now, about 26 percent of the people in Inakadate are over 65 and I have to think that some of them, like my mother, can't walk well. Where are they? Don't they ever go out?

My mother had a great time in Japan. Certainly, parts of the trip were difficult for her, but she used the services available and had a successful trip. I hope the seniors of Inakadate too are having some little adventures, despite any physical difficulties they may have.

## 国際交流料理教室を開催します

毎月1回、いろいろな国の料理を国際交流員のデービットさんが楽しく教えてくれます！第7回のメニューは「スウェーデンのミートボール」「エッグノーグ(アメリカの卵酒)」「クリスマスのクッキー」です。ふるってご参加ください。

■日時／平成18年12月3日(日) 10:00~13:00 ■場所／中央公民館調理室 ■申込締切／11月30日(木)

■対象／高校生以上 ■参加費／600円 ▷申し込み・問い合わせ／役場総務課企画係 ☎58-2111(内線244)

津軽の話題満載

# 津軽広域連合だより

vol. 27

## 板柳町 創作工房 「工芸館」

学んで、遊んで、泊まれるりんごの里「板柳町ふるさとセンター」には、りんごを素材とする創作工房「工芸館」があります。りんごの木の灰を釉薬に用いる『陶芸工房』や、りんごの木の皮を一本一本でいねいに編み上げていく『林寿工房』、りんごの葉や枝をじっくり煮込んで自然の色をそのまま染めあげる『りんご草木染め工房』やアップルファイバーをたつぷりと使って作る『りんご菓子工房』と、それぞれにりんごの「意外な可能性」をいかしたものです。工房ごとにいろいろな体験コースを設定していて、ご家族やご友人で創作体験ができますので、ぜひ、ご利用ください。

### ■問い合わせ先

板柳町ふるさとセンター

☎72-1500



▲いろいろな体験コースがあります！

▼新しい年へ、スタート！



## 平川市 第2回平川市初夢マラソン大会

新年を迎えた1月2日、「第2回平川市初夢マラソン大会」が開催されます。

子どもから大人まで楽しめる内容となっておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。

■とき 平成19年1月2日(火) 10時30分  
スタート予定

■ところ 平川市平賀総合運動施設体育館(スタート・ゴール)

### ■種目(15種目)

- 2km 小学生男子・女子(6、5、4、3年生以下の部)、中学生女子、一般女子(高校生含む)、50歳以上男子
- 3km 中学生男子、30歳代男子、40歳以上男子
- 5km 一般男子(高校生含む)

■表彰 種目ごとに上位3名を表彰します。

※ゴール後にはお楽しみ抽選会もあります。

■参加資格 健康に自信があり、所定の距離を完走できる方

### ■問い合わせ先

平川市ひらかドーム ☎43-0660

## 11・12・1月の主なイベント

	とき	イベント名	内 容	問い合わせ先
11月	11月11日	The津軽三味線2006	300人の津軽三味線大合奏。18・19・25・26日は市内80か所で街角ライブ	弘前商工会議所 ☎33-4111
	11月11日・12日	収穫感謝祭&シクラメン市	約1万鉢のシクラメンを展示販売のほか、たくさんイベントが目白押しです	田舎館村産業課 ☎58-2111
	11月18日・19日	第16回黒石りんごまつり	りんご市、収穫感謝祭、よされニューバージョンのステージ発表など	黒石市商工観光課 ☎52-2111
	11月18日・19日	ふじフェスタ2006	町文化協会の方による芸能発表会や町民の作品展示など、催し物がたくさんあります	ふじフェスタ実行委員会 ☎75-3111
	11月19日	りんご米の収穫祭	りんご皮むき大会や農産物加工品販売など	弘前市りんご農産課 ☎82-1636
	11月23日	特産品フェスティバル	平賀地域の特産品を集めたフェスティバルです	平賀町物産協会 ☎44-3055
	11月25日	第1回アップルフェアin 鰐 come	りんご品評会、農産物販売、タレントショーほか	アップルフェア実行委員会 ☎48-3164
	11月25日・26日	2006岩木文化祭	子ども芸能、歌&芸がっせん、芸能発表、図書館まつり、りんご品評会、作品展示など	弘前市中央公民館岩木館 ☎82-3214
	11月25日・26日	第33回町民祭	町民の活動や成果を披露。りんごなど農産物の即売会や各種体験コーナーもあります！	板柳町総務課 ☎73-2111
	11月26日	ミニ・インターナショナルフレンドシップフェア	各市町村の国際交流事業を一堂に集めて紹介します。各国の料理などが振る舞われます	藤崎町生涯学習課 ☎75-3311
	12月	12月1日~3日	平川市民文化祭	市民の作品展示、アトラクション
12月2日・3日		ふじフェスタ2006	町の特産品であるりんご「ふじ」などの紹介や販売など、秋の味覚が大集合します	ふじフェスタ実行委員会 ☎75-3111
1月	1月1日	常盤八幡宮年縄奉納行事	元旦に、巨大な年縄を奉納し、家内安全、五穀豊稔を祈願する伝統行事です	藤崎町企画課 ☎75-3111
	1月2日	第2回平川市初夢マラソン大会	市内外から集まったランナーが、新年の希望を胸に健脚を競います	平川市ひらかドーム ☎43-0660

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により介護及び障害程度区分認定審査・各種ソフト事業などの様々な事務事業を共同で実施する特別地方公共団体です。



役場 ☎58-2111 (代表)

お問い合わせの際は、  
各課の内線番号を  
お伝え下さい。

# 学務課だより

## 平成19年度

### 田舎館村奨学生募集中

教育委員会では、来年度進学予定及び在学中の方を対象に、奨学金を貸与する「奨学生」を募集しています。(入學する学校が決まっていなくても、進学する予定であれば奨学生の手続きができます。追加募集は行いませんので、注意下さい)

奨学生願書などは教育委員会学務課に準備してあります。

▽奨学金の種類/修学資金、入学支度金(金額は学校の種類によって異なります)

▽願書受付期間/11月30日(木)まで【土・日・祝日は除く】

※奨学金の金額や奨学生の要件など、詳しいことは教育委員会学務課(☎58-2363)までお問い合わせください。

# 国民年金だより

## 国民年金保険料について

○国民年金保険料は、全額が社会保険料控除(非課税)の対象です。

○年末調整や確定申告で国民年金保険料を申告する場合は、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」の添付等が必要で、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」は11月上旬に社会保険庁から送付されますので、申告の際まで大切に保管してください。

▽問い合わせ  
弘前社会保険事務所  
☎27-1303

# 住民課だより

## 特設相談所(人権・行政)の開設について

「第58回人権週間」(12月4日~10日)にちなみ、いろいろな悩みごと、困りごとについて、人権擁護委員が無料でご相談をお受けいたします。また秘密は絶対守りますので、ご安心ください。

▽日時/12月6日(水)午前9時~正午まで

▽場所/役場一階相談室

▽問い合わせ/住民課住民係(内線165)

# その世

## 農業用免税軽油の申請について

中南地域県民局県税部では、平成19年に使用する農業用免税軽油の申請を次のとおり受付します。申請が遅れますと免税証の交付も遅れることとなります。受付日は必ず守り、必要書類を添えて申請してください。

▽受付日/11月27日(月)

▽受付場所/青森県弘前合同庁舎別館3階A・B会議室  
※昨年までと受付場所が変更になりました。

▽受付時間/午前9時~午後4時まで

▽問い合わせ/中南地域県民局県税部課税第一課 ☎32-1131 (内線278)

## 法務局なんでも相談所開設

### 相談所開設

青森地方法務局弘前支局、弘前人権擁護委員協議会では、「人権週間(12月4日~10日)」にちなんで、「法務局なんでも相談所」を開設いたします。相談は無料、秘密は厳守いたしますので、土地や建物の登記の問題、遺言等の公正証書に関する問題、戸籍・供託に関する問題、近隣・家庭内・学校・職場の問題など、またどこに相談したらよいかわからないとお困りの方はお気軽にご相談ください。

▽日時  
12月2日(土)10時~15時

▽場所  
青森地方法務局弘前支局

▽問い合わせ  
青森地方法務局弘前支局総務課 ☎26-1150

## 「青森県防火の集い」開催

地域住民の防火意識の高揚と民間防火組織の拡大・強化を目的に「青森県防火の集い」を開催します。

婦人防火クラブ員による体験発表や保育園児等による防火演技などを披露します。お誘い合わせの上、ご来場ください。入場は無料です。

▽日時/平成18年11月17日(金)10時~正午

▽場所/黒石市民文化会館

▽問い合わせ/黒石消防本部 予防課 ☎53-1000

## 指名手配被疑者の検挙に協力

警察では、特に重大な犯罪の被疑者を選定して、11月中旬に全国警察の総力を挙げて追跡捜査を行うこととし、これら被疑者の早期検挙に取り組んでいるところです。

この指名手配被疑者の発見に向けた各種捜査活動には、みなさんのご協力がぜひとも必要です。

指名手配被疑者によく似た人を見かけたといった情報等、どんなささいなことでも結構

## 売土地情報!!

地番…畑中字藤巻155-2・158-1  
面積…2,668.00㎡  
価格…4,000,000円  
用途地域…市街化調整区域  
地目…雑種地

地番…垂柳字福岡63-3・63-8  
面積…253.72㎡(土地) 160.46㎡(建物)  
価格…3,200,000円  
用途地域…市街化調整区域  
地目…宅地

▶問い合わせ/総務課管財係 ☎58-2111(内線242)

ですので、警察に通報して  
いただくようお願いいたします。  
▽問い合わせ/黒石警察署  
☎52-2311

## 平成18年度 成人式

- 日時/平成19年1月7日(日)午後2時～
- 場所/式典…文化会館ホール  
記念パーティー…中央公民館ホール
- 対象者/昭和61年4月2日～昭和62年4月1日  
まで生まれた方

▶問い合わせ/田舎館村中央公民館 ☎58-2250

人権行政相談所開設  
ところ 11月22日(水)  
じかん 午前9時～正午まで  
役場1階相談室

## 新・再任された人権擁護委員を紹介します

### 新任 肥後 健一さん

これまで人権擁護委員を務めていた坂本康保さん(田舎館)の退任に伴い10月1日付で肥後健一さん(田舎館)が新たに委嘱されました。

### 再任 工藤 泰子さん

7月1日付で工藤泰子さん(前田屋敷)が再任され、委嘱されました。

## 自衛官募集!

### 【2等陸・海・空士】

- 資格/18歳以上～27歳未満の男子  
(19年4月1日現在)
- 受付期間/平成18年12月1日まで
- 試験日/平成18年12月10日
- 入隊予定日/平成19年3月下旬
- 試験場所/青森駐屯地  
(青森市大字浪館字近野45)

▶問い合わせ/自衛隊青森地方協力本部弘前地域事務所 ☎27-3871

## ミニ・インターナショナル フレンドシップフェア開催!!

いろいろな国の料理の試食や、民族舞踊の披露などイベント盛りだくさん! みんなが楽しめる国際交流のイベントです。各地域からブースを出して国際交流の様子を紹介します。田舎館村からは国際交流員のデービッドさんも出ますので、ぜひ足をお運びください。

- 日時/平成18年11月26日(日) 10:00～
- 場所/スポーツプラザ藤崎(藤崎町大字西豊田1丁目1)
- ▶問い合わせ/総務課企画係 ☎58-2111(内線244)

## 収穫感謝祭&シクラメン市”に献血バスがやってきます! 献血にご協力を!

今回の献血は、田舎館ライオンズクラブと田舎館村赤十字奉仕団の後援で行いますので、献血記念品もたくさん用意しています。  
輸血を待ちのぞんでいる患者さんのために、ぜひ献血のご協力をお願いします!!

### ☆献血のご案内☆

平成18年11月11日 土曜日  
田舎館村役場前  
(受付:役場正面入口)  
午前の部10:00～12:00  
午後の部13:00～15:00



青森県の献血キャラクター  
「プラット君」

※献血手帳をお持ちの方は、ご持参ください。  
※平成18年10月1日から、従来の紙型の献血手帳に加え、献血カード(磁気カード型)が導入されています。献血カードは、本人の同意を得たうえで発行され、順次、献血手帳から献血カードに切り換わります。  
※受付の際に、本人確認できるもの(運転免許証、健康保険証等の公的機関発行のもの)の提示が必要になります。

『献血は安心してできます。  
健康管理にも役立ちます。』

▶問い合わせ/厚生課 環境衛生係 ☎58-2111(内線152)

## インフルエンザ予防接種の実施について

村では費用の一部を助成し、下記のとおりインフルエンザ予防接種を実施します。

希望者は、下記医療機関へ直接お申込みください。

- 1) 対象者 ①接種日で満65歳以上の方  
②接種日で満60歳以上満65歳未満の方で、心臓若しくは呼吸機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する方  
※義務ではありません。あくまで本人の希望になります。
- 2) 接種期間 平成18年11月1日(水)～平成18年12月22日(金)
- 3) 申し込み 下記医療機関へ、事前に直接申し込んでください。
- 4) 接種費用 ①本人負担1,000円(※村内医療機関で接種の場合)  
②生活保護者無料  
※接種した医療機関へお支払いください。  
※領収書を厚生課窓口を持参しても、補助はいたしません。
- 5) 持参するもの ①認め印(※必ず持参してください。)  
②本人負担金  
③本人確認できるもの(運転免許証、健康保険証など)

### 6) 接種できる村内医療機関

医療機関名	接種受付時間	備考
田舎館診療所(58-2220)	午前9:30～午前11:30	日、祝日は休み
光田寺診療所(58-2306)	午後4:00～午後5:00	土、日、祝日は休み
津軽三育医院(75-3755)	午後3:00～午後5:00	水、金、土は休み
川部医院(75-2080)	午前8:30～午後1:00 (土曜日は12:30まで)	日、祝日は休み

※医療機関の都合により変更もあり得ますので、事前に医療機関に確認してください。

▶問い合わせ/厚生課 環境衛生係 ☎58-2111(内線152)

